

COLUMN

和歌と『歌枕』

田子の浦に うち出でて見れば 白妙の 富士の高嶺に 雪は降りつつ 山部 赤人

〈現代訳〉田子の浦に出かけて眺めると,真っ白な富士の 山頂に雪が降り続いていることだよ。

駿河湾に富士山は、日本の代表的な風景です。この原歌は、『万葉集』の「田子の浦ゆうち出でて見れば真白にぞ富士の高嶺に雪は降りける」で、「田子の浦ゆ」は「田子の浦を通って」、「降りける」は「降り積もっていたことだ」という意味です。その後、『新古今和歌集』で、今の形となりました。「雪は降りつつ」の「つつ」は、反復・継続を表す助詞です。実際には、田子の浦からは、山頂の雪が降り続いている様子は見えないはずですが、臨場感あふれる印象的な表現ですね。「田子の浦」や「富士」のように古くから和歌に詠まれている名所・旧跡のことを「歌枕」と言います。当時の富士山は、活火山で噴煙を上げていました。歌枕を訪ね、当時の情景を想い浮かべながら作品の世界に思いを馳せるのも和歌の楽しみ方の一つですね。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部 顧問 青池 のぞみ

不二輸送機ホールイベント情報)

12 1

手嶋沙織ピアノコンサート

魅力的なロシア音楽を山口県出身の手嶋沙織さんによるピアノ演奏とお話でお届けします。

- ◆と き 開場 13:30 開演 14:00
- **♦ところ** 小ホール
- ◆演奏

手嶋 沙織 (ピアノ), 松原 淳子 (MC)

- ◆入場券 一般 2,000 円, 高校生以下 1,000 円(全席自由)
- ◆入場券販売所 不二輸送機ホール

12 山口県総合芸術文化祭 2019 第43回 全日本アンサンブル 15・25・26 コンテスト山口県大会

◆と き

15日(日) 10:30 ~ 小学校,大学,職場·一般の部 25日(水) 10:00 ~ 中学校の部 26日(木) 10:00 ~ 高等学校の部

◆ところ 大ホール **◆入場料** 無料

REPORT ~文化の薫るまちづくり~

◎さんハロで市の文化を発信

10月20日に、おのだサンパークで開催した『スマイルハロウィンさんようおのだ 2019』で PR しました。

■ガラスとかるたの PR を行いました!

市の特設ブースでは、きららガラス未来館のガラス作家を講師に招き、ジェルキャンドル体験教室を開催しました。ハロウィンにちなんだパーツを使って、体験者は記念に残る特別なキャンドルを制作してガラス文化に触れていました。

ステージでは、ONODA グラスアンサンブルによるガラスのマリンバやフルートなどの演奏を披露し、ガラス特有の澄んだ音色が響き渡りました。

また、小野田高等学校小倉百人一首かるた部全員が鮮やかな袴姿で、かるたの魅力を PR しました。その後、同校吹奏楽部の演奏に合わせてダンスを披露。その姿は川面を埋めつくす紅葉の錦を思わせる、彩り豊かなものでした。

